

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																
大阪府柔道整復師会 専門学校		平成22年4月1日	徳山 健司		〒550-0004 大阪府大阪市西区鞠本町3-10-3 (電話) 06-6444-4171																
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																
公益社団法人 大阪府柔道整復師会		昭和35年9月2日	徳山 健司		〒550-0004 大阪府大阪市西区鞠本町3-10-3 (電話) 06-6444-4151																
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士															
医療	医療専門課程	柔道整復学科				平成17年文部科学省 告示第139号															
学科の目的	柔道整復師学校養成指定規則に基づき、柔道整復師に関する知識・技能を教授し、もって医の倫理、科学的精神の確立を創造できる有資格者を養成するとともに、高い倫理観と高い技能を兼ね備えた国民保健に寄与する人材を育成すること。設立当初より少人数制の4年制教育課程とし、実技・実習教育を柱として実践力のある職業型医療人の育成を目指す。																				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技														
4	昼間	174単位	2311時間		1032時間																
単位時間																					
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数															
120人		56人	0人	6人	23人	29人															
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 科目担当者が、定期試験、受講状況、出席状況等を統合し評価する。																
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:8月上旬～8月下旬 ■冬季:12月下旬～1月上旬 ■学年末:3月31日			卒業・進級 条件	所定の修業年限以上在学し所定の単位を修得した者については、認定会議の審議を経て卒業を認定する。 進級の認定は、各学年ごとに配当し開講する授業科目の単位を修得し、総合的に勘案した成績評価に基づき、認定会議の審議を経て決定する。																
学修支援等	■クラス担任制 無 ■個別相談・指導等の対応 担任同士の競争や担任の格差解消の為、全員担当性を導入している。4学年を通して成績及び出席率等を随時チェックして月に1度合同会議を開催。出席率の低下等があれば、本人また保護者と面談し意思の疎通を図っている。入学前には指定するテキストを配布して事前課題を与え、入学後に試験を行い評価している。			課外活動	■課外活動の種類 4学年の在校生が学友会を組織する。学生が自発的に新入生歓迎会や卒業記念パーティ、勉強会を企画運営する。 ■サークル活動: 有																
就職等の 状況	■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生) 接骨院・整骨院・整形外科・クリニック・スポーツジム・フィットネス関連施設			主な学修成果 (資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和元年5月1日時点の情報)																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柔道整復師</td> <td>②</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>健康運動実践指導者</td> <td>③</td> <td>8人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>CSTPTトレーナー</td> <td>③</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	柔道整復師	②	5人	5人	健康運動実践指導者	③	8人	4人	CSTPTトレーナー	③	8人	8人	※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 日本柔道整復接骨医学術大会で研究成果発表・大阪学会での研究成果発表
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																		
柔道整復師	②	5人	5人																		
健康運動実践指導者	③	8人	4人																		
CSTPTトレーナー	③	8人	8人																		
中途退学 の現状	■中途退学者 7名 令和3年4月1日時点において、在学者 56名(令和3年3月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者 45名(令和3年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由から学費や生活費を工面しなければならず、その中で高校とは異なる厳しい環境で仕事と学業の両立が困難となり出席率が低下、その結果、学校への通学意欲が低下、成績不良を招いている。家計を助けるために就職する進路変更が退学への引き金ともなっている。 ■中退防止・中退者支援のための取組 就労支援や学習支援も行いながら、普段から学生本人また保護者との連絡を密に、必要に応じて面談し心境の変化を逃さない対応に努めている。			■中退率 15%																	
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 無利息貸与 月額3万円 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																				
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL) https://osaka-jyusei.ac.jp/publics/index/17/																				
当該学科のホームページURL	https://osaka-jyusei.ac.jp/																				

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。